

意見聴取会 意見陳述申込書

天塩川流域委員会 様

天塩川の河川整備・管理について、次のとおり意見を述べたいので申し出ます。

平成 17 年 3 月 21 日

1. 意見陳述申込者

ふりがな

氏名

年齢 29 歳

性別 男 ・ 女

住所 北海道中川郡中川町

2. 意見

No. 1

昨年(平成16年)は全国各地で、1昨年は北海道の胆振・日高地方においても、大きな洪水被害が発生しております。

近年はテレビや新聞等によると、雨の降り方が今までとは違って、集中して大量に降ると言ったようなことが報道されております。

あのような降雨が当地域を襲ったらどうなるのだろうと思うと、不安でいっぱいです。1昨年の胆振・日高地方の洪水時、二風谷ダムがなかったら下流の堤防は波壊していただろうと言う話を聞きました。サンルダムは100年に1度の洪水を想定して造られていると聞いておりますが、天塩川以外の河川につくられているダム計画はどうなのでしょう。同じ納税者として、安全で安心して生活できる地域を、つくっていただくためにも、他のダム計画規模以上のサンルダムを早急に建設していただきたいと願うものです。

また、夏の渇水時に名寄川へ度々いきますが、名寄川の渇水時は川にほとんど水のない状況を何度も見ております。下川・名寄間に上名寄頭首工があり、夏期になりますと魚道は設置されているのですが、水量が少なく農業用水が取水できないものですから、魚道に板が張られて魚が上がれないようになっております。この状態は、魚にとっては非常に劣悪な環境だと思っております。サンルダム建設によって、名寄川が川としてよみがえり、魚の生態環境も改善されるのであれば、お金に替えられない喜びであり、それが未来永劫続くわけですから、地域にとっては大変な財産になると思います。そして、上流水域の整備が整う事によって、下流で暮らす住民にとっても安全で安心できる生活環境が整います。そのためにも、サンルダムの早期完成を望みます。

天塩川には、豊かな自然環境が残されており、先般「北海道遺産」に選定されたところであります。天塩川や名寄川に豊かな水辺があって、初めて天塩川・名寄川の雄大さが実感できるのではないかと思います。四季を通して水辺環境のすばらしさを景観のすばらしさを全国に発信し、将来の町づくり

※上記のご意見記入欄が不足する場合は、本意見陳述申込書と併せて別紙で提出して下さい。

を考える時に、この雄大な天塩川を観光資源として活用するためにも、サンルダムは不可欠であります。中川・音威子府間及び美深・名寄間には狭窄部が点在しており、洪水時には流水の阻害になっております。特に、音威子府村は洪水時の積上げによる耐水によって内水被害が頻発している状況にあることから、狭窄部の伐採を早急にお願いしたいと同時に天塩川流域の景観を疎外している原因として河川敷内の密集している雑木がありますが是非処理をしていただき、天塩川・名寄川の一体した水辺環境づくりをする上でも、サンルダムの建設は必要と思います。

現在私は、中川町の住民の1人として商工業を中心として発足した「中川町環境美化推進管理組合」の主旨に賛同し、ボランティア活動の一環として行動していきたいと考えております。「中川町環境美化推進管理組合」の主旨は「自然環境を地域住民として活用しながら、大切に守り続ける」ということであり、昨年発足したNPO法人「天塩川リバーネット21」の主旨とは、会い通じるものがあると考えております。今後、「中川町環境美化推進管理組合」とNPO法人「天塩川リバーネット21」両組織が十分な連携をとり協力体制を構築していくことで より良い天塩川環境づくりや安全で安心できる地域づくりにつながっていくと信じております。私自身も積極的に係っていききたいと思います。川の大切さを改めて考え、地域の皆さんといっしょに環境づくりを考えていきたいものです。水のない川では子供達も遊べませんし、カヌーも乗る事が出来ません。もちろん魚も住めず、まして悪臭が漂うようなことではいけないと思います。人と川とのふれあいの場・魚にやさしい川・良好な水質の確保・天塩川らしい水辺環境等を保全するためにも、天塩川流域に住む人間として、何でも行政にお任せするのではなく、行政と連携し安全で安心できる地域をつくっていききたいと考えております。そのためにもサンルダム建設は、この天塩川流域には必要不可欠であると考えます。